

二本松ツアーレポート

人生は旅だと思っている。短い旅でも長い旅でも、その間きつと知らない人に会い、知らないことを分かるようになる。その関わりから存在感が感じられ、生きている意義を感じられ、それこそ人生だと思っているからである。3月5日にそのような旅に出かけた。この体験によって沢山知らないことを身につけることができ、地域の人々の熱心さも強く感じた。私にとっては忘れられない旅の一つであった。

私たちが参加したのは福島大学の留学生のためのスタディーツアーで、福島県の二本松市へ行った。そこで日本文化を代表する和菓子の作り方を学び、自分で作った。昔日本の映画に和菓子の作り方を見たことがある。茶道の体験で、何回も和菓子を食べたが今回は初めて自分で作ってみた。やはり和菓子は季節の表すものであり、日本人が自然を感じ作って来たものだと考えている。ただ和菓子を見ると綺麗としか思わないが、作ってみるといろいろな工夫、繊細さが必要だと感じた。本当に感動した。



私たちが行ったメンバー

昼間は地元で有名な和食屋さんで昼ご飯をいただいた。日本料理の人気のものの中ではお寿司、ラーメンなどと言えるが、今回私たちはすごく豪華な定食を食べた。全部で七、八週類がおり、何でも美味しかった。食事後、私たち特別にお茶を出していただいた。自分が作っていた和菓子と美味しくいただいた。



自分が作ったお菓子をお茶といただいた

午後、日本酒を生産している店を見学しに行った。二本松にしかださないお酒なので店の規模も小さいと社長さんが言ったが、そうと大きいと感じた。日本のお酒を見たのは今回も初めてみた。美味しいお酒を作るために色々なことを工夫しないといけないということを知ってきた。



今回のツアーは私にとって貴重な経験で、普段学べないことを身につけた。そして、二本松の人たちの親切で本当に暖かく感じた。一言では言い切れないので是非皆さんもこのようなことを経験して頂きたいと思っている。